

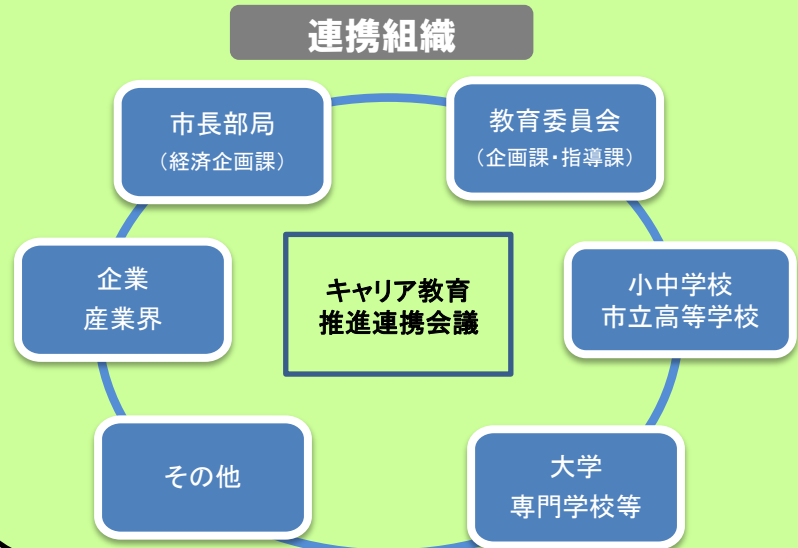
千葉市の教育に関する大綱

○生涯を通じたキャリア教育の推進

- ・市民の生活基盤確立と都市を支える人材の育成・確保のため、経済部門等と連携し、雇用等の社会ニーズを踏まえた取組みが進むよう、職場体験や進路指導体制の充実など、教育課程でのキャリア教育の見直しを進めます。
- ・加えて、実社会に出た後に知識や技術を身に付けることができる環境を整えるなど、市民の生涯を通じたキャリア教育を推進します。

キャリア教育推進連携会議

「キャリア教育推進連携会議」を平成28年3月に設置。庁内外の関係者から、生涯を通じたキャリア教育を推進するための意見を聴取し、「キャリア教育の方針」を策定予定。



◆構成メンバー

- ・鹿嶋座長（千葉商科大学教授）
- ・小中学校校長会代表、小中学校キャリア教育担当
- ・市立高校キャリア教育担当職員
- ・大学・専門学校関係者（敬愛大、千葉大、ポリテク）
- ・企業、産業界関係者（伊藤工務店、千葉労働局職業安定部、JFEスチール東日本製鉄所、ウェザーニューズ、キッツ、イオン）

※事務局 経済企画課、教育委員会企画課・指導課

キャリア教育の方針(案)

主な課題

具体的な方策

小学生
中学生

・小中の教育課程を一貫したキャリア教育の目標が不足

・職場体験等の現場の負担感、体験先の確保が困難

・教員が最新の労働市場の情報を十分に持っていない
・普通科志向が強く、保護者や生徒への専門高校等の情報提供が不足

高校生

・小中で積み上げたキャリア教育が高校で途絶えてしまう
・市立高校に通う生徒以外への支援

大学生・
短大生
専門学校生等

・将来の目標を明確に持てないまま大学等に進学
・市内企業の情報の不足

社会人

・時間、情報の不足

○線としてつながったキャリア教育の展開

・「キャリア教育ガイドブック」の改訂（モデルプランの作成）

○キャリア教育主任会の開催

○小中学校における職場訪問・職場体験等の見直し

・業種の拡大、学校訪問型による体験、製造～流通までの体験

○キャリア教育を担う教員の資質・能力の向上

○放課後等を利用したキャリア教育の充実

・放課後子ども教室、西千葉起業塾、中学生のための起業体験講座

○普通科以外の進路先についての生徒・保護者への情報提供の充実

○市立高校におけるキャリア教育の充実

・課題型の学習、インターンシップ、社会参画意識の醸成

○県立高校との連携強化

○教育課程外でのキャリア教育の充実

○大学や専門学校で行われているキャリア教育の推進

○企業との連携

・企業見学バスツアー、企業合同説明会

○インターンシップ等の支援策の充実

・インターンシップ推進委員会

○生涯学習センター等でのキャリア教育の充実

○雇用状況など情報提供の充実及び支援制度の利用促進

発達段階に応じて、就労を見据えたキャリア教育を展開することで、
地域経済・産業の求める人材とのマッチングを図る

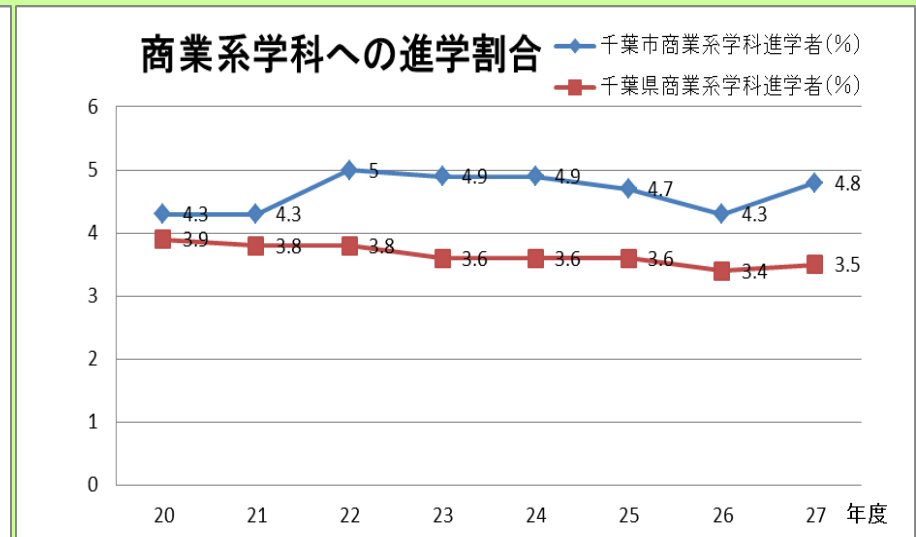
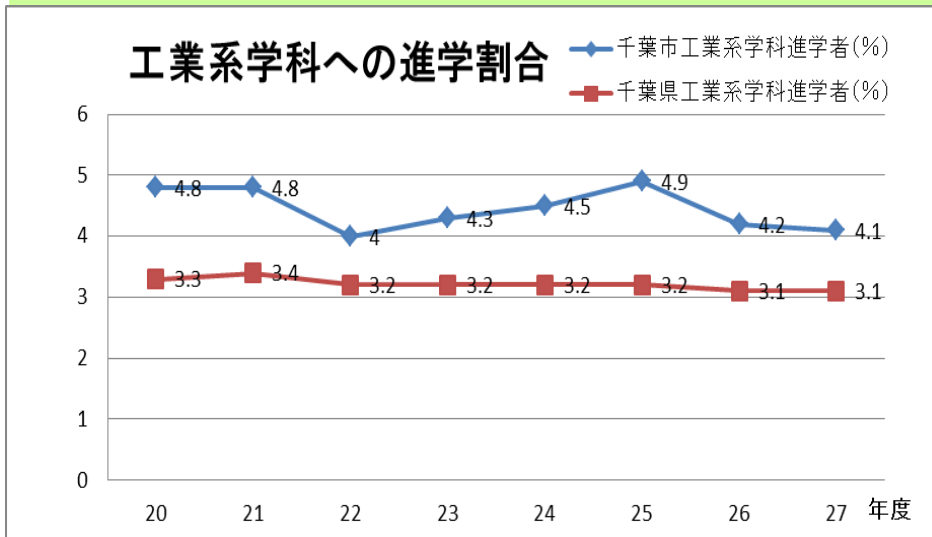
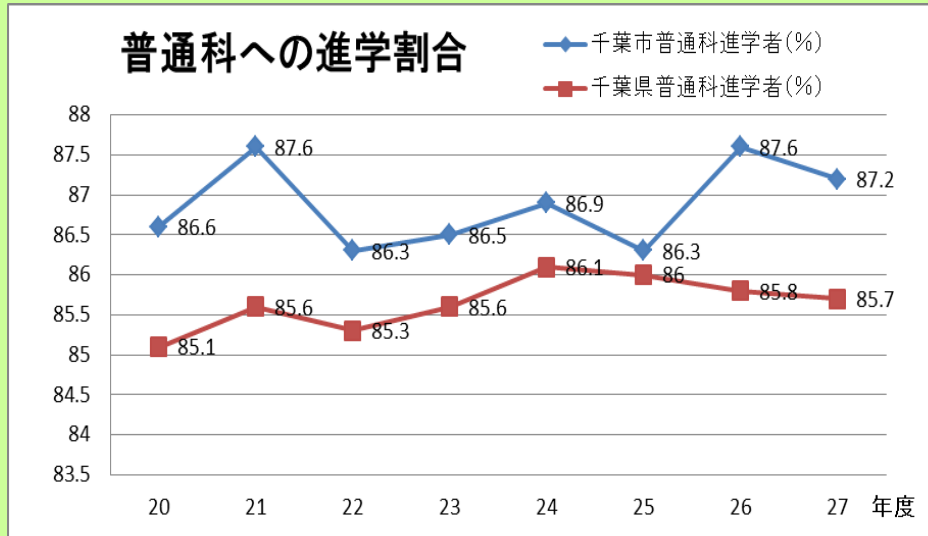
28年度の主な実施事業及び29年度の取組み

	事業名	H28実績	H29予定	備考(所管等)
1	小中学校「キャリア教育モデルプラン」の作成	<p>○教育センターのH28・29年度の課題研究の中で、H19年度に作成した「キャリア教育ガイドブック」を改訂し、小・中のキャリア教育のモデルプランを作成する。</p> <p>○キャリア教育ガイドブックの内容について検討(基本方針・内容決定)。</p> <p>○キャリア教育グランドデザイン・年間指導計画の作成の仕方について検討・具体例作成等。</p>	<p>○キャリア教育グランドデザイン・年間指導計画を受けての授業実践とそのまとめ。</p> <p>○キャリア教育ガイドブック作成・全教員への配布。</p> <p>○教育課程研究協議会・センター研修・出前講座で活用方法等指導。(指導課;主任会で活用)</p>	教育センター
2	教員研修プログラムの開発	<p>○教育センター主催の教員を対象とした研修(10年経験者研修)で実施している社会体験研修について、民間企業に委託し、民間企業の人材育成のノウハウを生かした教員研修プログラムを開発。</p>	<p>○開発したプログラムを見直す。(平成30年度からは、教育センターで自走できるプログラムを開発する)</p> <p>○社会体験研修の受入れ企業の拡大を図る。</p>	教育センター
3	中学校副読本の改訂	<p>○下記の内容について、キャリア教育推進連携会議での意見を参考に見直しを進めており、今後も改善を加えていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路学習ノート「わたしの夢」(1・2年生用) ・進路選択の手引き「ハロー マイフューチャー」(3年生用) ・工業高校専門学科紹介資料「次世代技術者を育成する」 ・保護者用資料「子供と共に考える資料」(1～3年) <p>○資格に関する情報や専門学科等に関する内容を追記する方向で改訂作業を実施。</p>	<p>○キャリア教育推進連携会議での意見を参考に見直しを進める。</p>	指導課
4	キャリア教育主任研修会	<p>○開催に向け研修内容を検討。</p>	<p>○7月3日に新規開催。</p> <p>○キャリア教育の一層の充実のために、研究・実践のリーダーとしての資質の向上を図ると共に、小・中学校間の連携をより一層強化し、義務教育9年間を見通したキャリア教育のための手立てを明らかにする研修会を行う。</p>	指導課
5	ものづくりマイスター手づくりみらい教室	<p>○千葉県職業能力開発協会及び千葉県技能士会連合会の協力を得て、技能士等が学校を訪問し、授業時間内に児童にもものづくりの指導を実施。</p> <p>○2校(あすみが丘小、横戸小)</p>	<p>○千葉県職業能力開発協会と相談の上、事業を推進する。</p>	指導課

	事業名	H28実績	H29予定	備考(所管等)
6	放課後子ども教室におけるキャリア教育につながるプログラムの充実	○教育委員会に配置した総合コーディネーターが、企業や大学等の協力を得て、子どもたちの「学ぶきっかけ」になるような「放課後子ども教室」のプログラムを開発・提供。	○28年度の事業を継続する他、子どもルームと放課後子ども教室の一体型モデル事業の実施など、放課後のプログラムを充実。	生涯学習振興課
7	千葉労働局との連携における協議	○労働局と雇用対策協定を締結し、大学生等を対象としたインターンシップの拡充をはじめ、小中学校生を対象とした仕事体験等の取り組みの促進等、産業界が求める人材の育成の具体的な連携事項について協議。 ○小中学校の職場体験・職場見学受入れ可能事業所等の情報を入手。 ○千葉労働局と教育委員会で、受入れ可能事業所一覧の整理及び扱いについて確認。	○受入れ可能事業所一覧の周知。	指導課
8	ちばっ子商人育成スクール(キッズ・アントレプレナーシップ教育の推進)	○若者を中心とした産業人材の育成を図るため、児童・生徒を対象に、企業や大学と連携し、起業塾や職業体験イベントを開催する。		
	西千葉子ども起業塾	○小学生4～6年生向けに、千葉大学教育学部(藤川研究室)と共催している。H26からはJFEスチールの協力のもと実施(B to B型が特色)。仮想の「子ども会社」を設立し、仮想通貨を運用するなど、企業・経営の体験を積むことで、アントレプレナーシップの喚起・涵養を図る。 ○参加者57名	○これまでの内容に加え、租税教育を盛り込めるか検討中。	
	夏休みおしごと感動体験	○敬愛大学の協力を得て実施。千葉駅前の百貨店、事業所等での職業体験イベント。小学3～6年生を対象にH26から実施。 ○H28体験枠は1,126人分	○自主的に職業体験に取り組む企業・店舗を発掘、支援することも検討。	
	中学生のための起業体験講座	○若葉区民まつりへの出店を通じて、会社設立、事業計画策定、資金集め、事業実施、会社清算を経験する。若葉区内の中学生を対象に、H26から東京情報大学樋口准教授のプログラムのもと実施。 ○参加者14名。 ○四街道市との連携をスタート。 (四街道市の生徒も対象とし、講師として四街道市の経営者を招聘)	○今年度の課題を踏まえ、内容を充実。(他の区への拡大も検討)	経済企画課
	幕張新都心ビジネススクール	○将来の進路選択や就職活動に繋がるきっかけを付与するため、幕張新都心に所在する企業の経営者等による講義や、若手社員との交流、市内在住・在学だけでなく、連携を深めている市原市・四街道市の高校生も対象に、神田外語大学キャリア教育センターと共催している。外語大らしさを出すため、講義の一部に英語でのトレーニングゲームなどを盛り込む。 ○参加者14名	○市立高校の生徒への広報活動を推進。	

	事業名	H28実績	H29予定	備考(所管等)
9	合同企業説明会、企業見学バスツアー等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○就職活動前の大学生・留学生を対象に地元企業との直接対話によるインターンシップのマッチング会を実施する。また、企業の現場を見学するバスツアーを開催する。 ○合同企業説明会(11月)の実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・秋冬にも大学3年生を対象として実施 ・受入方法のセミナー等の実施(H27～) ・振り返りセミナーの実施(H28～) ○企業見学バスツアーの実施。 (就職ポータルサイト「ジョブちば」開設) ○インターンシップの充実。 (県内大学と千葉市の連携による「インターンシップ推進委員会」代表校: 敬愛大学) <ul style="list-style-type: none"> ・夏に大学3年生を対象として実施 ・市内で約650人が登録・希望 	<ul style="list-style-type: none"> ○受入れ企業の拡大。 ○各事業の連携。 	経済企画課

学科別進学状況～千葉県内全体と本市内の比較～（「進路状況調査」千葉県教育委員会等より）



職種別有効求人倍率の過去5か年度推移（千葉労働局管内）

